

「食の安全安心と食育審議会 令和7年度 食育推進部会」報告

食の安全安心と食育審議会規則第7条に基づく「食育推進部会」の開催状況について、下記のとおり報告します。

1 開催日時・場所

日時：令和7年10月10日（金）10：00～12：00

場所：兵庫県中央労働センター 2階 視聴覚室

2 部会出席委員 7名（部会長 永井委員）

【関係課】男女青少年課、県民躍動課、地域福祉課、生活衛生課、流通戦略課、環境政策課、体育保健課、健康増進課

3 議事

（1）健康に関心が薄い層に向けた食育について

食育推進計画（第4次）について、若い世代への取組み（「大学生向け朝食摂取率向上プロジェクト」）、無関心層を含めた食環境整備（「ひょうご健康的な食環境づくりプロジェクト」）を中心に取り上げ報告し、委員よりご意見をいただいた。

【主なご意見】○委員意見、→関係課回答

ア 大学生向け朝食摂取率向上プロジェクト

○ 企画を作っている学生はどのようにして集めたのか。また、現在の3大学以外に連携する大学は今後広げていくのか。

→ 本事業は県栄養士会への委託事業で、研究職域の3大学の教員の学生中心に声をかけ自発的に参加を募った。学生同士のつながりで研究室以外にも広まり、興味のある学生が参加している。

栄養系学部以外の学生ももちろん参加はできるが、健康づくりという趣旨を適切に伝えるため、栄養の学生を据える形で今後も進めていきたいと考えている。

○ 本プロジェクトは今後どう広げていくか、どう引き継いでいくか、栄養系以外の一般の大学への広げ方は今後検討が必要。

○ 学部内でも周知されていない大学はあるため、伝え方を含めて考えていかなければ広がりはないのではないか。

○ なぜ19歳から29歳までの方が朝食を食べていない？

→ 全体的な傾向では「食べる時間がない」「寝ていたい」「食欲がわからない」という理由が多かった。

○ （若者世代の行動変容には）生活環境との連動が必要（食だけに焦点をあてると難しい）。大学で朝食を摂れる仕組みづくり等。

イ ひょうご健康的な食環境づくりプロジェクト（愛称：BE WELL）

○ タブロイド紙は魅力的な資料だが、今後どのように県民、関心の薄い方に広げていくと良いかは検討が必要。

- 情報発信してもなかなか広がらない。地道にやる部分と、広告塔みたいな方で兵庫にゆかりのある方から拡散してもらうのが効果的ではないかと

(2) 意見交換：食育推進計画（第5次）に向けた検討について

国の食育推進基本計画（第5次）におけるポイントを踏まえ、第一次計画から別々の計画だった「食の安全安心推進計画」との統合に向けた動きについて説明。

普段のご専門の立場、あるいは活動の中から感じている食育の課題、次期計画に必要な取組みの視点、第5次計画のスローガン（案）について委員よりご意見をいただいた。

【主なご意見】 ○委員意見、→関係課回答

- 1人暮らし高齢者がこれから増える中で、1人暮らし高齢者への食育も盛り込んでもらいたい。
もし災害があった場合の食育についても盛り込んでいただけるとどうか。
- 災害弱者（子ども・高齢者）に対してどのように健康維持していくかを第5次計画のなかに入れてほしい。
- 持続可能というのは大きなくくりなので、具体的に「エシカル消費」という言葉を入れても良いのでは。
大人の食育に購買者の責任とあるが、スローガンの要素として「責任」という言葉を入れると、より強く伝わるのではないか。
- 今後2つの部会が1つになることで、購買者と生産者をどう結び付けていくか、次世代までどう見ていくか、食べることが今後持続可能なのか、第5次計画は1つの大事なターニングポイントになるかと思う。
- 朝食さえ食べれば健康になれるというものでもないため、朝食を食べれば良いという伝え方に陥らないような伝え方の工夫や広げ方が必要。
- メディアの役割がこれから非常に重要。どう連携していくかを計画に入れていただきたい。
- 栄養教諭の配置が増え、食育を1人職の栄養教諭に委ねる学校もある。
食育活動を経験させている学校とそうでない学校があり、コロナでそういった活動もなくなったままなかなか復活していない。
- 学校現場では20～30代前半、一人暮らしの教員が多く、朝食を食べていない教員が子どもたちにどうやって指導しているか懸念している。教員への指導、研修も大事。
- 学校給食は、経費の問題（アレルギーの関係もあるが）で限られた食材になっている。給食は楽しみでもあり、物価高騰が何とかならないか。
- 給食材料費の高騰についてはいかがか。
→ 物価高騰に伴い給食費を上げざるを得ない市町や、値上げ分を間接的に補助す

る市町が増えている。国も状況はよく認識しており、給食の物価高騰に対して臨時交付金を交付し、それをどう活用するかは市町で決めることができる。県でも特別支援学校での給食に臨時交付金を使った補助をしている。臨時交付金は継続してもらえるかが問題であり、県としても国に継続を要望している。

- 県内で給食費ゼロの取組みをしている市町はあるか。
- 小中学校いずれも無償化しているのは令和7年5月1日現在で県内8市町。
学校給食を義務教育の一環として捉えるのであれば国が支援すべきで、現在国では制度設計を進めており、令和8年度から小学校を無償化する方向で動いているが、まだスキームが確定していない。11月中旬頃にはスキームが出るのではないかという情報もあり、情報が入り次第各市町に情報提供していく。

(3) 審査：「食育絵手紙」コンクールについて

県民の食育への関心や実践力を高めることを目的に、食育を実践するためのメッセージを絵と言葉で伝える絵手紙を募集し、応募総数1,618作品の中から、各テーマにつき1作品を最優秀賞、5作品を優秀賞として選定した。

- 入賞作品
〈テーマ① 生産者へのメッセージ〉

賞	氏名（所属・学校）
最優秀 (兵庫県知事賞)	にしむら ゆき 西村 雪希 (浜坂高等学校)
優秀 (兵庫県漁業協同組合連合会代表理事会長賞)	きざはし まお 象橋 真生 (淡路市立津名中学校)
優秀 (兵庫県栄養士会長賞)	しみず ことは 清水 琴葉 (豊岡市立日高東中学校)
優秀 (兵庫県いずみ会長賞)	いわやま あずみ 岩山 梓実 (加古川東高等学校)
優秀 (兵庫県小学校長会長賞)	いけや ゆういち 池谷 優壱 (神戸龍谷高等学校)
優秀 (おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会長賞)	もりた めぐる 森田 回 (たつの市立龍野西中学校)

〈テーマ② 健康につながる食習慣〉

賞	氏名（所属・学校）
最優秀 (兵庫県知事賞)	たかくら ゆうな 高倉 由奈 (たつの市立新宮中学校)
優秀 (兵庫県漁業協同組合連合会代表理事会長賞)	あさだ れい 浅田 滯 (サドベリースクールゆ〜ゆう)
優秀 (兵庫県栄養士会長賞)	なかえ ひかり 中江 ひかり (出石高等学校)
優秀 (兵庫県いずみ会長賞)	よしたに こうへい 吉谷 幸平 (豊岡市立日高東中学校)

優秀 (兵庫県小学校長会長賞)	もりかわ ちきと 森川 千聡 (加古川市立平岡南中学校)
優秀 (おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会長賞)	いなむら ゆうか 稲村 優花 (豊岡市立豊岡南中学校)